

# NO.6 電気回路・電子機器

期 間：1日または2日間

## 関東NO.6

開催日 2025年11月12日(水)～2025年11月13日(木)

募集期間 2025年 4月 1日(火)～2025年10月29日(水)

## 関西NO.6

2025年11月26日(水)～2025年11月27日(木)

2025年 4月 1日(火)～2025年11月12日(水)

(1日目) 主回路や制御回路等の技術知識を習得する講座

(2日目) 電子機器に関する技術知識を習得する講座

**受講対象者** 鉄道事業者などの車両メンテナンス担当者及び車両メーカー等の中堅者の方。

**目 標** 主回路、制御回路、補助回路等の電気回路や、電子機器の保守に関する現状把握とその課題に向けた解決の方向性を理解することを目指します。

**目 的** (1日目) 主回路、制御回路、補助回路等の各構成要素について学びます。  
(2日目) 最近の鉄道車両の急速な電子化に対応した電子機器の保守の方向性について学びます。  
本講座は、2日間受講、1日目のみ、2日目のみの受講の選択が可能です。

**講 師** 山崎技術士事務所 所長 山崎 清孝 氏  
一部調整中

### 講義内容

#### 1. 主回路

- (1) インバータ・コンバータ
- (2) 主電動機
- (3) その他の主回路構成要素

#### 2. 制御回路

代表的な制御回路構成要素

#### 3. 補助回路

SIV他代表的な補助回路構成要素

#### 4. 電子機器

- (1) 電子機器保守上の問題点
- (2) 電子機器の故障防止対策
- (3) 電子機器保守上の課題解決の方向性

### 受講料

- ・正会員（個人正会員、及び団体正会員の会社・団体に所属する社員）  
2日間受講の場合：36,960円（税込）  
1日目または2日目のどちらか1日を受講の場合：18,480円（税込）
- ・非会員  
2日間受講の場合：45,100円  
1日目または2日目のどちらか1日を受講の場合：22,550円（税込）
- ・リモート受講の場合も対面受講の場合と同額となります。

### その他

- ・本講座は、関東、関西の区別なく受講が可能です。
- ・リモート受講を併用するので、遠隔地からの受講も可能です。

2025年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関東NO.6 電気回路・電子機器

標題について、下記の通り受講申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	2日間受講	1日目のみ受講	2日目のみ受講	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****_****@***.**.jp	対面	○		○		○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤本講座は、2日間、1日目のみ、2日目のみのコースを選択することができます。「2日間受講」、「1日目のみ受講」、「2日目のみ受講」欄に○を記入願います。
- ⑥リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所をご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑦「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事

2025年度車両技術講座 受講申込書

講座名 関西NO.6 電気回路・電子機器

標題について、下記の通り受講申し込みをします。

受講者氏名	年齢	会社名・勤務先・職名	電話	E-mail アドレス	受講形式	リモート受講の可否	2日間受講	1日目のみ受講	2日目のみ受講	団体会員	個人会員	記事
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
		【宛先(受講者本人と異なる場合)】 【資料送付先住所】										
(記載例) ヤマカワ 山川 太郎	◇	〇〇(株) 運用車両△△部 〇〇課 主任	××-×××-××××	****_****@***.**.jp	対面	○		○		○	○	

- ①講座は関東、関西で開催となりますが、関東、関西の区別なく受講が可能です。受講申込書は関東、関西を間違わないようにご使用ください。
- ②講座は対面またはリモートによる受講となりますので、どちらで受講されるかを「受講形式」欄にご記入下さい。
- ③リモートの場合、Zoomとなります。
- ④万一对面による講座が開催できない状況下ではリモートのみの開催も検討します。その場合はZoomとなりますが、リモートになった場合でも受講される場合には「リモート受講の可否」欄に○を記入願います。
- ⑤本講座は、2日間、1日目のみ、2日目のみのコースを選択することができます。「2日間受講」、「1日目のみ受講」、「2日目のみ受講」欄に○を記入願います。
- ⑥リモート受講を希望される方には、事前に講義資料をお送りしますので、資料送付先住所をご記入ください。なお、資料送付先が受講者ご本人以外の場合は、その宛先と住所をご記入ください。
- ⑦「団体会員」、「個人会員」欄は該当する場合、○を記入願います。

責任者ご氏名	会社名・お役職名	電話	E-mail アドレス	記事